

救急 専門研修プログラム

◆ プログラムについて

当院は、救命救急センターに指定され、地域の救急医療の最後の砦となっています。名古屋市北西部および、その近郊から重症度、緊急度の高い患者さんを中心に救急搬送されてきます。

令和元年実績：救急搬送 8,144 件 Walk-in 23,218 件

職種を超えたチーム医療と、病院全体の全面的な協力のもとで365日24時間の受け入れを可能にしています。

連携施設として藤田保健衛生大学病院、海南病院、前橋赤十字病院を加え、地域性を重視しながらも、最先端の高度医療から学術分野にいたるまで、幅広い経験を積むことにより、全人的な医療を実践できる人材を養成します。

※プログラム内容の詳細は、当院ホームページよりご覧下さい。

◆ 専攻医の処遇

・身分：専攻医（常勤嘱託）

・給与：3年次 基本給 290,300 円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

4年次 基本給 305,800 円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

5年次 基本給 320,100 円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

・他施設で研修する場合の雇用条件は、それぞれの研修施設の給与、社会保障、労働条件による。退職金等は、退職時の施設基準に従う。雇用にかかわる住宅、交通などの条件は、当該研修施設の基準に従う。

◆ 研修コース

PlanA

	1期	2期	3期	4期
1年次	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院			
2年次	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	海南病院	藤田医科大学病院	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
3年次	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	藤田医科大学病院	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	

PlanB

	1期	2期	3期	4期
1年次	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	海南病院		
2年次	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	藤田医科大学病院	藤田医科大学病院	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
3年次	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	海南病院		

令和2年1月～12月実績

重篤な傷病・病態別一覧	人数	退院・転院 (転棟を含む)	死亡
CPAOA	280人	25人	255人
重症脳血管障害	237人	214人	23人
急性心筋梗塞及び心不全	347人	336人	11人
急性大動脈解離	57人	53人	4人
重症呼吸不全	227人	210人	17人
重症急性膵炎	0人	0人	0人
急性腹症緊急全身麻酔	34人	33人	1人
重篤な代謝性障害	45人	45人	0人
多発外傷	1人	1人	0人
全身麻酔を要する外傷	12人	11人	1人
指肢切断	0人	0人	0人
重症熱傷	0人	0人	0人
急性中毒	5人	5人	0人
計	1245人	933人	312人



お問合せ先

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 教育研修管理課

TEL : 052-481-5111 E-mail : kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp